

平成 23 年度大阪府立登美丘高等学校「学校教育自己診断」

校長 中野 泰三

『保護者・生徒・教職員による本校教育活動の自己診断』

大阪府立登美丘高等学校は、大正 13 年に黒山高等実践女学校として産声をあげ、平成 25 年には創立 90 周年を迎えようとしています。これまで約 2 万人にのぼる卒業生が巣立ち、各方面で活躍をしています。

現在、本校では、これらの歴史と伝統を踏まえながらも、さまざまな教育活動において新しい伝統づくりに取り組んでいます。

また、同時に、「学校教育自己診断」として、保護者・生徒・教職員を対象にアンケートを実施し、教育活動の改善にも努めてきました。

平成 23 年度のアンケート結果及び分析がまとまりましたので、今後に向けた取組も含めて報告いたします。

【1】 学校の概要

平成 23 年度は、3 年生 8 クラス、2 年生 9 クラス、1 年生 9 クラスの合計 26 クラス 1035 名でスタートしました。

9 月には第 60 回学校祭（歌合戦・文化祭・体育祭）を生徒会執行部が中心となって実施し、2,000 人をこえる皆さまに来校していただき、とても盛況なものとなりました。生徒の自主性を重視した取組として、登美丘の伝統行事となっています。

部活動についても、全校生徒の 8 割以上が加入し、運動系・文化系共に活発に活動しています。

語学研修・海外交流としては、オーストラリア語学研修（7/27～8/9、五校合同）を実施し、登美丘高校からは 8 名が参加しました。また、今年度は交流校の Halls Head Community College と正式に姉妹校提携をむすび、今後ますます国際交流を発展させていきたいと考えています。

【2】 本年度の自己診断実施状況

- ・本年度は昨年度にひきつづき全学年（生徒・保護者・教職員）でアンケートを実施しました。
- ・保護者へのアンケートは 1 月に（回収率 78%（昨年度 69%））、生徒へのアンケートは、12 月に実施しました。（本年度、自己診断専用封筒を作成したことにより回収率が 9 ポイント上昇しました。）
- ・昨年度に、生徒、保護者への質問の精選をおこないました（答えやすいものを選ぶ、生徒の指導向上に役立てやすいものを選ぶ、生徒・保護者の答えが同じはずのものは削除。

記述回答欄等を追加しました。)ので、本年度は経年変化を見るために昨年と同じ質問にし、昨年同様、診断アンケートと共に学校からの現況報告等のプリントを添付しました。

【3】 学校教育自己診断アンケートの結果について

○学校生活について：生徒・保護者ともに学校生活全般についての肯定感が高い。

生徒回答では、「学校行事は楽しいか」肯定度 83% (昨年度 79%) (以下同様)、「部活動への取組」67% (65%)、「生徒会活動・HR活動は活発である」56% (56%)、「学校へ行くのが楽しい」76% (71%)、保護者回答では、「学校行事の取組」87% (87%)、「部活動への取組」71% (70%)、「学校に行くのを楽しみにしている」83% (83%) と生徒・保護者ともに学校生活全般については、今年度も高い肯定度の回答をいただいています。

多くの生徒が学校生活・行事に積極的に参加し「学校の規則をよく守っている」88% (83%) と回答していることから、生徒は与えられた環境・ルールの中で、学校生活を有意義に楽しく過ごしている事がよくわかります。また、「親子の会話をよくおこなう」が69% (69%) と、保護者と生徒のコミュニケーションが比較的良好に取れていると考えられます。

外部の評価でも「登美丘の生徒や卒業生は、学校に満足している。」いわゆる、学校満足度数が高いという評価をいただいています。今後もこれを大切に継続していきたいと考えています。

○授業や学習への取組：授業への取組態度は良いが、家庭での学習時間が短い。

生徒回答では、「授業への取組」は72% (65%) ですが、保護者回答では「一日1時間以上家庭で学習している」に対し、「よくあてはまる」が14% (16%)、肯定度でも39% (38%) でした。塾・予備校には32% (32%) (一年19% (20%)・二年25% (25%)・三年54% (50%)) が利用していると回答しています。

全体としてみると学習面において特に学力を定着させるために重要な家庭学習が不足していると読み取れます。今後、保護者と協力しながら家庭学習の習慣をつけさせたいと考えています。

○学校に期待する事：生徒は授業改善を期待している。保護者の9割は登美丘に進学させてよかったと回答するが、進路指導については更なる充実を望んでいる。

生徒回答では、「授業はわかりやすい」48% (43%)、「先生は教え方に工夫している」43% (34%)、「先生に質問しやすい」53% (48%) と、少しの改善は見られるもののみまだ肯定的な回答が下回っています。多くの生徒が、授業改善等を求めていると読み取れます。

保護者回答では、「登美丘に進学させてよかった」90% (90%)、「学習指導に満足している」75% (63%)、「生徒指導に満足している」82% (77%)、と回答していますが、「進路指導に満足している」の「よくあてはまる」の回答が、13% (10%) と全アンケート質問項目中で最も低い数字となっており、進路指導(学習指導にも通じると考えます)への期待は大きいものであると判断しなければなりません。

以上の結果より、高校生活、学校行事、生活指導の充実はもとより、学習面においても、授業評価アンケート等により現状をチェックし、授業のさらなる充実・工夫に努めていかなければならないと考えています。進路指導についても、全体への進路指導に加えて、きめ細かい個々の進路相談にも力を入れ、生徒個人がしっかりと実力をのばし、自己実現につながるように指導していかなければならないと考えています。

○情報発信について：よく活用され、一定の評価をいただいている。

保護者回答では、「ホームページを見たことがある」68% (64%)、「連絡プリントは必ず見る」73% (75%)、「365日いつでもネットを利用している」79% (78%)と情報ツールについては、定着し、よく活用され、一定の評価をいただいていると考えられます。今後は、さらに、保護者だけでなく地域の方々にも情報を発信し、地域に根差した学校づくりに努めたいと考えています。また、今年度は在校生の出身中学校を訪問し、情報の共有と発信を行いました。今後も中学校との連携を深めながら教育効果があがるように継続していきたいと考えています。

○教職員アンケートの結果

教職員の回答からは、アンケートの結果をふまえて、生徒の進路実現に向けて、授業、講習、補習等の学習指導に積極的に工夫し取り組んでいることがうかがえます。また、進路指導については、大学・専門学校への進学指導、企業就職への情報収集と進路相談、面接指導等、保護者懇談等、多忙な実務に追われながらも奮闘している姿がうかがえます。生徒指導についても、通学指導、遅刻、服装、頭髪、挨拶等の基本的な生活習慣に係る指導について、教職員が一致して取り組んでいるといえます。ただ、生徒や保護者のアンケート結果からみると決して十分といえる状況ではなく、今後一層の努力が必要であると考えています。

【4】 第三者による学校評価

学校協議会（委員構成：大学准教授（座長）、地元中学校長、地元町内会会長、学習塾校長、本校PTA会長、本校同窓会会長、本校食堂経営者）

第1回 平成23年6月6日（月）15:00～17:00

協議内容

- ① 本年度の学校教育目標について
- ② 本校の現状と取組状況について
- ③ 今後に向けた課題について

第2回 平成24年2月13日（月）15:00～17:00

協議内容

- ①本年度の学校経営取組状況について
 - ②学校教育自己診断について
 - ③平成 23 年度進路状況について
 - ④今後の方向性について
 - ⑤90 周年事業について等の報告及び協議をおこなった。
- 2 回の協議会のまとめとして下記の提言をいただきました。

【学校協議会からの提言】

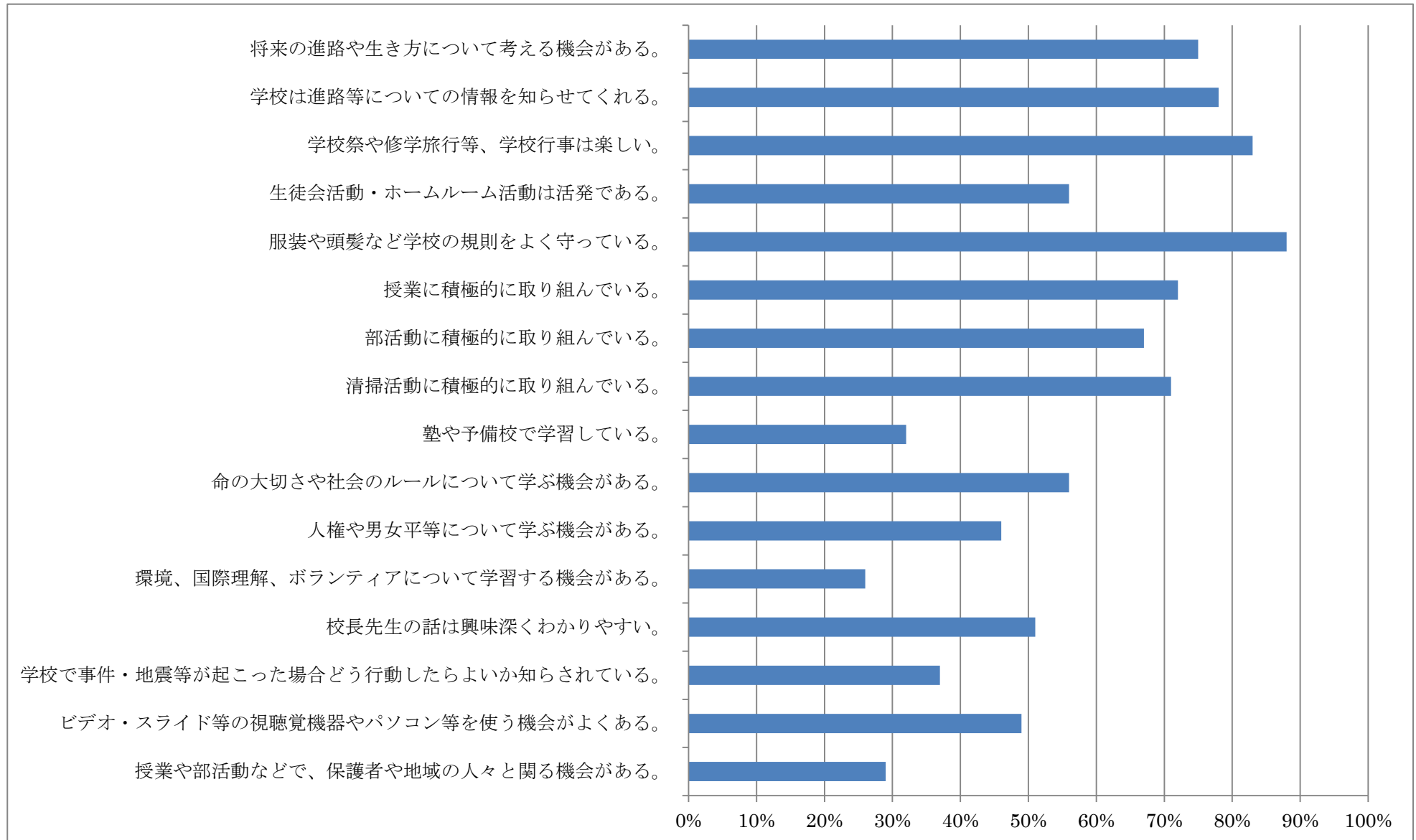
- 1, 進路保障について
 - 保護者に向けた情報提供に努めるなど、進路指導のさらなる充実を図ってほしい。
 - 進路実績を上げるだけでなく、大学・専門学校等卒業後も見据えた「進路達成満足度数」の向上を図ってほしい。
- 2, 学習指導について
 - 1 年入学時からの学習習慣の定着化に努めてほしい。
- 3, 開かれた学校づくりと保護者連携について
 - 今後も、ホームページやメール発信を通して保護者との連携に努めてほしい。
- 4, 学校の方向性
 - 「学校満足度数」は高いので、これからも「登美丘の良さ」を大切にしてください。

【5】 今後に向けて

本校といたしましては、これらの結果を踏まえ、教職員一同ベクトルを共有しながら、めざす登美丘高校生の育成に努めいきたいと考えております。今後一層のご理解とご協力をお願いいたします。

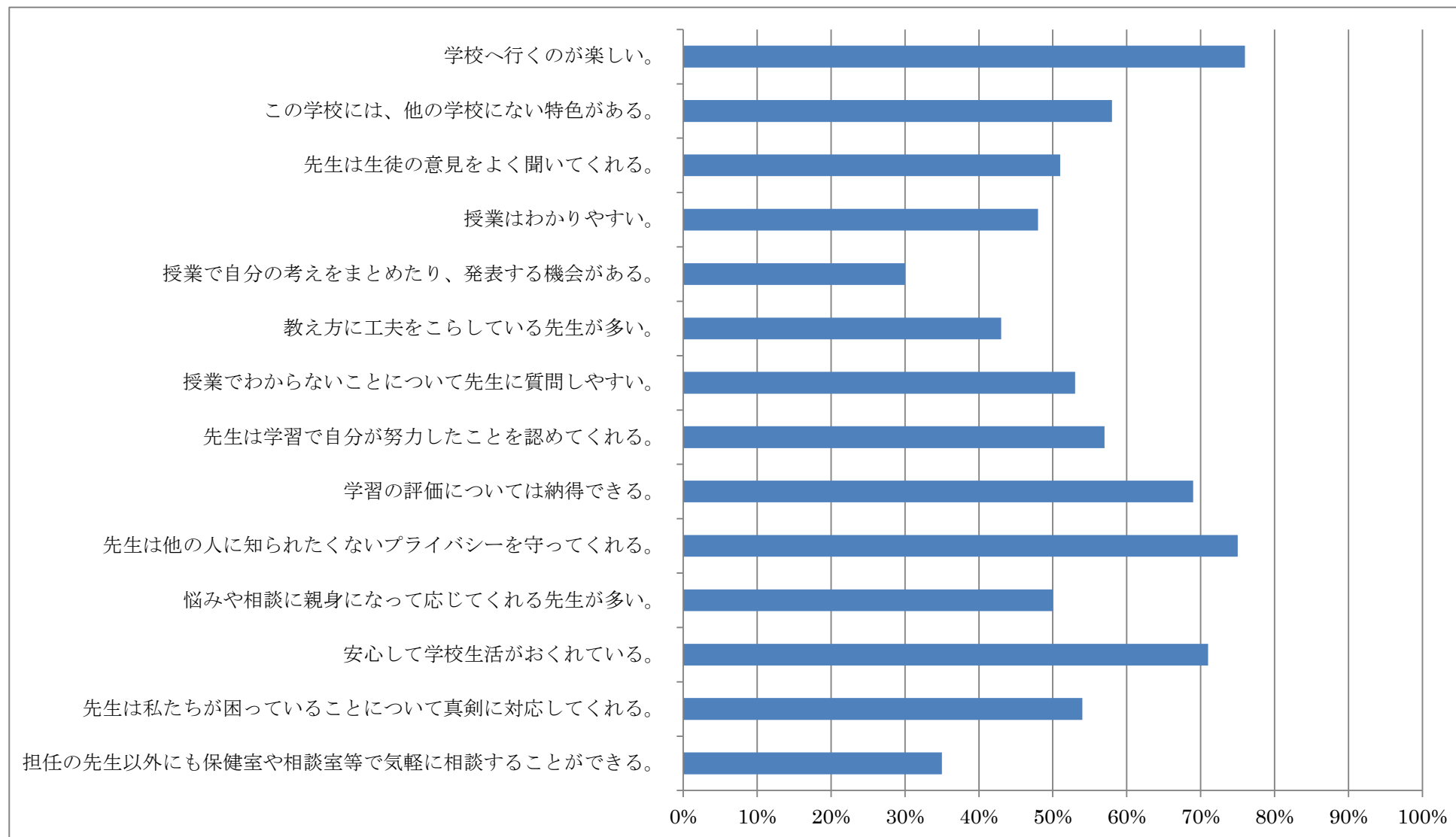
平成23年度学校教育自己診断（生徒回答） NO.1

よくあてはまる ややあてはまる への回答率



平成23年度学校教育自己診断（生徒回答） NO.2

よくあてはまる ややあてはまる への回答率



平成23年度学校教育自己診断（保護者回答）

よくあてはまる ややあてはまる への回答率

